

あなたの声をお聞かせください

男女共同参画・多文化共生に関する市民アンケート 調査票（案）

～調査ご協力をお願い～

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、皆様に男女共同参画及び多文化共生に関するお考えやご意見をお聞きし、今後の計画の策定・推進の参考とするため、意識調査を実施することになりました。

なお、調査にあたりましては、市内在住の18歳以上の方々2,000人を無作為に選ばせていただき調査票をお送りしています。この調査の結果は、計画推進の目的のみに使用するものであり、他の目的に使用することや内容についてご迷惑をおかけすることは決してありません。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年●月 湖西市長 影山 剛士

【ご回答にあたって】

対象	市内在住の満18歳以上の方から無作為に抽出した2,000人の市民
調査基準日	令和●年●月●日
回答者	・この調査は、宛名のご本人が、ご自身のお考えをお答えください。 ・宛名のご本人がご病気などで、自分で答えるのが難しい場合は、ご家族またはお世話をなさっている方が記入のお手伝いをしていただいても構いません。 ・回答はすべて無記名です。個人が特定されることはありません。
回答方法	下記のいずれかの方法でご回答ください。 ア) この調査票（紙）の郵送による回答 この調査票に直接記入し、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、郵便ポストに投函してください。 イ) オンライン回答フォームによる回答 ①オンライン回答フォームへアクセス URL: _____ ②調査票ID入力（この調査票の右上の●桁の番号） ※IDは重複回答を避けるために調査票に割り振られたものであり、個人情報に紐づくものではありません。安心してご入力ください。 ③回答フォームに入力 二次元 コード
回答期限	令和●年●月●日（●）までにご回答ください。
集計・公表	・調査結果は、市ウェブサイトにおいて公表いたします。 ・回答内容はすべて統計的に処理し、<u>個人情報が公表されることはありません。</u>

問合せ先：湖西市市民安全部市民課 〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地

(TEL) 053-576-1213 (FAX) 053-576-4880 (MAIL) kyodo@city.kosai.lg.jp

I あなたのことについてお伺いします（それぞれ1つだけ○をつけてください）

（問1）性別 （1つを選択）	1. 男性	2. 女性	3. その他
（問2）年齢 ※令和6年●月●日現在 （1つを選択）	1. 18～24歳 2. 25～29歳 3. 30～34歳 4. 35～39歳	5. 40～44歳 6. 45～49歳 7. 50～54歳 8. 55～59歳	9. 60～64歳 10. 65～69歳 11. 70～74歳 12. 75歳以上
（問3）お住まいの地区 （1つを選択）	1. 湖西中学校区 2. 岡崎中学校区	3. 白須賀中学校区 4. 鷺津中学校区	5. 新居中学校区
（問4）自身の職業 ※兼業の方は主なものをお選びください。 （1つを選択）	1. 正規雇用者（会社員・公務員など） 2. 非正規雇用者（パート・派遣社員など） 3. 自営業（農林漁業・商工業など） 4. 経営者・役員 5. 専業主婦・主夫 6. 学生 7. 無職 8. その他（ ）		
（問5）業種 ※兼業の方は主なものをお選びください。 （1つを選択）	1. 農林漁業 2. 建設業 3. 製造業 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 5. 情報通信業 6. 運輸業 7. 卸売・小売業 8. 金融・保険業 9. 不動産業 10. 飲食店・宿泊業 11. 医療・福祉 12. 教育・学習支援業 13. サービス業 14. 公務員 15. その他（ ）		
（問6）未婚・既婚別 （1つを選択）	1. 未婚 2. 既婚（事実婚・同性カップル等を含む） 3. その他（離別・死別など）		
（問7）配偶者・パートナーの職業 ※〈問6で「2. 既婚（事実婚・同性カップル等を含む）」とお答えの方〉 （1つを選択）	1. 正規雇用者（会社員・公務員など） 2. 非正規雇用者（パート・派遣社員など） 3. 自営業（農林漁業・商工業など） 4. 経営者・役員 5. 専業主婦・主夫 6. 学生 7. 無職 8. その他（ ）		
（問8）同居家族 （複数選択可）	1. いない（ひとり暮らし） 2. 配偶者（事実婚・同性パートナー含む） 3. 自分自身の親 4. 配偶者・パートナーの親 5. 子 6. 孫 7. 祖父母 8. きょうだい 9. その他（ ）		

(問9) 同居している 一番下のこども (1つを選択)	1. 3歳未満 2. 3歳以上の未就学児 3. 小学生 4. 中学生 5. 高校生	6. 短大・専門・大学生 7. 社会人 8. 同居している子どもはいない 9. その他()
(問10) あなたの介護の 状況 (1つを選択)	1. 現在、家族を介護・介助している 2. 現在、家族を介護・介助していない	

Ⅱ 以下の言葉・考え方についてお伺いします

問11 次の言葉・考え方についてどのくらい知っていますか。(それぞれ1つを選択)

	よく知っている	少し知っている	言葉だけ知っている	知らない
① 男女共同参画	1	2	3	4
② リプロダクティブ・ヘルス/ライツ	1	2	3	4
③ 性的マイノリティ (またはLGBTQ+)	1	2	3	4
④ 多文化共生	1	2	3	4

Ⅲ 社会における男女平等についてお伺いします

問12 『男は仕事、女は家庭』というような男女の役割を固定的に考えること(性別役割分担意識)について、あなたはどのようにお考えですか。(1つを選択)

1. 同感しない	3. どちらかといえば同感する
2. どちらかといえば同感しない	4. 同感する

問13 問12のように考えるようになった理由を選んでください。(1つを選択)

1. こどもの頃、親からそのように教えられたから
2. こどもの頃、学校でそのように教えられたから
3. 周囲の人(友人や知人、配偶者など)の考えに影響を受けたから
4. メディア(新聞・テレビなど)の情報を見聞きして影響を受けたから
5. メディア(インターネット・SNSなど)の情報を見聞きして影響を受けたから
6. そのほうが自然だと思うから
7. 自身の人生経験から
8. その他(具体的に: _____)
9. 特にない

問14 あなたは、次のことがらについて、男女の地位は平等になっていると思いますか。

(それぞれ1つを選択)

	男性が非常に 優遇されている	どちらかといえば 男性が優遇 されている	平 等	どちらかといえば 女性が優遇 されている	女性が非常に 優遇されている
① 家庭生活	1	2	3	4	5
② 職場	1	2	3	4	5
③ 学校教育の場	1	2	3	4	5
④ 地域 (自治会・PTA等)	1	2	3	4	5
⑤ 政治の場	1	2	3	4	5
⑥ 法律や制度の上	1	2	3	4	5
⑦ 社会通念や慣習・ しきたり	1	2	3	4	5

問15 男女の平等を達成するために、重要なことは何だと思いますか。(複数選択可)

1. 性差別につながる法律や制度の見直し
2. 性別に関する偏見や社会通念、慣習がなくなること
3. 一定の割合で女性を重要な役職に登用する制度を充実すること
4. 育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得しやすい社会づくりを進めること
5. 子育てや介護に男性が参画すること
6. 学校教育で男女平等教育を推進すること
7. 社会教育(成人への啓発)の場で男女平等に関する啓発を推進すること
8. 家庭のこと・DV等について相談できる窓口が充実していること
9. 防災活動や地域活動へ女性が参画すること
10. 再就職や多様な働き方がしやすい社会づくりを進めること
11. その他(具体的に: _____)

Ⅳ 家庭生活における役割分担についてお伺いします

問16 次のことがらについて、家庭の中で誰が行うのが望ましいと思いますか。

配偶者・パートナー・子ども・要介護者がいない方は、現在の考え方でお答えください。

(それぞれ1つを選択)

		主に男性が行う	どちらかといえば男性が行う	男性と女性が同程度行う	どちらかといえば女性が行う	主に女性が行う
家計	①生活費を稼ぐこと	1	2	3	4	5
	②日常の家計管理	1	2	3	4	5
	③高価な契約 (住宅・車など)	1	2	3	4	5
家事	④食事作り	1	2	3	4	5
	⑤洗濯	1	2	3	4	5
	⑥掃除	1	2	3	4	5
	⑦ゴミ出し	1	2	3	4	5
	⑧日用品の買い物	1	2	3	4	5
育児	⑨こどものお世話	1	2	3	4	5
	⑩こどもの進路決定	1	2	3	4	5
その他	⑪家族の介護	1	2	3	4	5
	⑫地域行事の役員	1	2	3	4	5
	⑬地域行事への参加	1	2	3	4	5

問17 家事・育児・介護を外部化（有償サービス・家電等を利用）することについて、どのようにお考えですか。(それぞれ1つを選択)

	利用したほうが良い	どちらかといえば利用したほうが良い	どちらかといえば利用しない方が良い	利用しない方が良い
①家事	1	2	3	4
②育児	1	2	3	4
③介護	1	2	3	4

Ⅴ 職業や労働、ワーク・ライフ・バランスについてお伺いします

問18 あなたは、「女性と職業」についてどのようにお考えですか。(1つを選択)

1. 女性は職業をもたないほうがよい
2. 結婚するまで職業をもつほうがよい
3. こどもができるまで職業をもつほうがよい
4. 出産・育児期間は仕事をやめ、成長したら再び職業をもつほうがよい
5. 結婚・出産・育児の有無にかかわらず、ずっと職業をもち続けるほうがよい
6. その他（具体的に：_____）

問19 男性と比較した場合、現在の女性の働きやすさの状況について、どのように思いますか。
(1つを選択)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. たいへん働きやすいと思う | 2. ある程度働きやすいと思う |
| 3. あまり働きやすいと思わない | 4. 働きやすいと思わない |
| 5. わからない | |

〈問19で「3. ～4.」とお答えの方に伺います。〉

▶問20 女性が働きやすい状況の原因は何だと思いますか。(複数選択可)

1. 結婚や出産を機に退職する慣習や圧力があること
2. 夫（パートナー）や家族の理解や協力が十分でないこと
3. 賃金、昇進などの面で男性と同等の待遇になっていないこと
4. 男性よりも家事・育児・介護の負担が大きい中で働くこと
5. 家事や育児は主に女性が担うものという社会の風潮があること
6. 日本には、そもそも長時間労働や休日出勤のある仕事が多いこと
7. 育児休業・休暇が取得しにくいこと
8. 育児施設の不足
9. 介護休業・休暇が取得しにくいこと
10. 介護施設の不足
11. 女性の上司に対して身構えたり、抵抗感のある部下や同僚がいること
12. その他（具体的に：_____）

問21 育児や介護を行うために、育児休業・休暇や介護休業・休暇を取得できる制度があります。この制度を活用して男性が育児休業・休暇や介護休業・休暇を取ることにについて、あなたはどうお考えになりますか。(それぞれ1つを選択)

	積極的に取った方が 良い	どちらかといえば 取った方が良い	どちらかといえば 取らない方が良い	取らない方が良い
①育児休業・休暇	1	2	3	4
②介護休業・休暇	1	2	3	4

問22 現在お勤めの方だけに伺います。あなたの職場では、男性の育児休業・休暇や介護休業・休暇が取得しやすい環境にありますか。(それぞれ1つを選択)

	取得しやすい	やや取得 しやすい	やや取得 しにくい	取得しにくい	わからない
①育児休業・休暇	1	2	3	4	5
②介護休業・休暇	1	2	3	4	5

問23 あなたの生活の中で、「仕事」「家庭生活」「個人の生活」について、優先させたいものの理想と現実を教えてください。

※「個人の生活」とは、趣味・学習・社会活動・付き合いなどを指しています。

(A、Bについてそれぞれ1つを選択)

	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	「仕事」と「個人の生活」をともに優先	「家庭生活」と「個人の生活」をともに優先	「仕事」と「家庭生活」と「個人の生活」をすべて優先
A 理想の生活	1	2	3	4	5	6	7
B 現実の生活	1	2	3	4	5	6	7

Ⅵ ドメスティック・バイオレンス（DV）についてお伺いします

☆立ち入った質問になりますが、この調査は無記名で行っておりますので、回答された方に御迷惑がかかることは一切ありません。調査へのご協力をお願いします。

問24 あなたは、次のようなことが配偶者やパートナーなどから行われた場合、DV（ドメスティック・バイオレンス）だと思いますか。（それぞれ1つを選択）

	どのような場合でもDVにあたると思う	DVにあたる場合も、そうでない場合もあると思う	DVにあたらないと思う
①平手で打つ	1	2	3
②足で蹴る	1	2	3
③からだを傷つける可能性のある物などで殴る・物を投げる	1	2	3
④殴るふりをして、おどす	1	2	3
⑤大声で怒鳴る	1	2	3
⑥家族や友人との関わりを制限する	1	2	3
⑦電話・メール・SNSを細かく監視する	1	2	3
⑧ほかの異性との会話を許さない（同性パートナーの場合は同性）	1	2	3
⑨何を言っても長時間無視し続ける	1	2	3
⑩「誰のおかげで生活できているんだ」などと言う	1	2	3
⑪生活費を渡さない	1	2	3
⑫相手の金品を勝手に使ったり、借金を強要する	1	2	3
⑬嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
⑭避妊に協力しない	1	2	3

問25 これまでに、夫・妻や恋人など親しい間柄にある（あった）人からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）について、経験したり見聞きしたりしたことがありますか。（複数選択可）

1. 暴力を受けたことがある

2. 身近に暴力を受けた人がいる

3. 暴力を受けた人から相談されたことがある

4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある

5. テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている

6. 経験したり見聞きしたことはない

7. その他（具体的に： _____）

→<問25で「1. 暴力を受けたことがある」と答えた方に伺います。>

問26 夫・妻や恋人から暴力を受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。

（複数選択可）

1. 暴力を振るった相手に抗議した

2. 家族や身近な人、友人に相談した

3. 公的な相談機関に相談した

4. 警察等に訴えた

5. 仕方がないと思い、何もできなかった

6. 怖くて何もできなかった

7. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった

8. 暴力をふるった相手から離れた

9. その他（具体的に： _____）

問27 あなたは過去に、今のあなたの心身や暮らしに悪影響を与えるような傷つき体験（例：虐待、DV、いじめ、性被害またはそれらの目撃など）がありますか。（1つを選択）

1. 悪影響のある傷つき体験はない

2. 傷つき体験があり、今も悪影響が出ていて、全く回復していない

3. 傷つき体験があり、今も悪影響が出ているが、徐々に回復しつつある

4. 傷つき体験があり、悪影響が出ていた時期があったが、完全に回復している

5. 生きづらさを感じるが、傷つき体験が原因なのかわからない

問28 女性が困難な状況から回復するには、どのようなことが重要だと思いますか。（複数選択可）

1. 安心できる居場所

2. 話を聞いてくれる身近な人の存在

3. 仕事の充実感

4. 経済的な安定

5. 支援制度や相談先など自分の助けになる情報を得られること

6. 実際に支援窓口に助けを求めに行くこと

7. 医師や弁護士、カウンセラーなど専門職の支援

8. 必要なことはない

9. その他（具体的に： _____）

Ⅶ セクシュアル・ハラスメントについてお伺いします

問29 あなたは、これまでに、セクシュアル・ハラスメントについて経験したり、見聞きしたりしたことがありますか。(複数選択可)

1. セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある
2. 身近にセクシュアル・ハラスメントを受けた人がいる
3. セクシュアル・ハラスメントを受けた人から相談されたことがある
4. 身近にはいないが、そうした話を聞いたことがある
5. テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている
6. 経験したり見聞きしたことはない
7. その他(具体的に: _____)

→<問29で「1. セクシュアル・ハラスメントを受けたことがある」と答えた方におたずねします。>

問30 あなたは、セクシュアル・ハラスメントを受けたとき、あるいはその後、どのような対応をしましたか。(複数選択可)

1. セクシュアル・ハラスメントを行った相手に抗議した
2. 家族や身近な人、友人に相談した
3. 公的な相談機関に相談した
4. 警察等に相談した
5. 仕方がないと思い、何もできなかった
6. 怖くて何もできなかった
7. 世間体や、今後の不利益を考えると何もできなかった
8. セクシュアル・ハラスメントを行った相手から離れた
9. その他(具体的に: _____)

Ⅸ 性的マイノリティについてお伺いします

問31 あなたの周りに性的マイノリティ(LGBTQ+)※の方はいますか。(1つを選択)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問32 あなたの身近な人(家族、友人、知人)などから、性的マイノリティ(LGBTQ+)※であると打ち明けられた場合、あなたの気持ちや態度に近いものはどれですか。(複数選択可)

1. 今までどおり接する
2. どう接すればよいかわからなくなる
3. 距離を置きたいと思う
4. 理解したいと思う
5. 理解がむずかしいと思う
6. 打ち明けてくれてうれしいと思う
7. その他(具体的に: _____)

※性的マイノリティ(LGBTQ+)とは、性的少数者ともいいます。同性に恋愛感情を持つ人や、自分の性に違和感がある人などのことをいいます。

問33 性的マイノリティ（LGBTQ+）の方々が生活しやすくなるためにどのような施策が重要だと思いますか。（複数選択可）

1. 情報発信を通じた啓発活動の充実
2. 相談窓口の充実
3. 小中学校などの学校教員や行政職員への研修の実施
4. 当事者や支援団体、行政等を交えた連絡、意見交換の実施
5. 働きやすい職場環境づくりへの働きかけ
6. 交流の場の充実
7. 理解を深める研修やイベントの開催
8. その他（具体的に： _____）
9. わからない

X その他についてお伺いします

問34 東日本大震災や能登半島地震などの教訓から、防災に対して男女共同参画の視点が必要だと指摘されています。災害に強い地域をつくるためには、どのようなことが重要だと思いますか。（複数選択可）

1. 自主防災組織の役員・リーダーを男女双方が担う
2. 自主防災組織や避難所運営組織での分担を決めるとき、性別で役割を固定的に考えない
3. 災害時に、性別や年齢、妊産婦、障害の有無などに応じた配慮ができるよう、あらかじめマニュアルなどで対応を決めておく
4. 日ごろの近所づきあいで顔を見知っておき、いざという時に助け合える関係をつくっておく
5. 女性や乳幼児などが必要とする物資を、地域でも備蓄しておく
6. その他（具体的に： _____）

問35 あなたは市政に女性の意見が反映されていると思いますか。（1つを選択）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1. 十分に反映されている | 2. まあまあ反映されている |
| 3. あまり反映されていない | 4. まったく反映されていない |
| 5. その他（ _____ ） | 6. わからない |

男女共同参画についてご意見等ありましたらご自由にお書きください。

問 35 以降は、多文化共生推進に関する設問です。

多文化共生推進協議会により意見集約し、修正中です。

10. 近所にいることは知っているが、付き合いを持ったことはない

11. 外国人の知り合いはいないし、付き合いを持ったこともない

→<問3537で「10. 近所にいることは知っているが、付き合いを持ったことはない」「11. 外国人の知り合いはいないし、付き合いを持ったこともない」と答えた方は、お答えください。>

問3638 付き合いがない理由は何だと思えますか。(1つを選択) 新規

1. 付き合うきっかけがない
2. 積極的に付き合おうとは思わない
3. 付き合う必要がない

問3739 あなたは、近所で会えば挨拶をする外国人はいますか。(1つを選択)

- | | |
|-----------|----------|
| 1. たくさんいる | 2. 少しいる |
| 3. あまりいない | 4. 全くいない |

問3840 地域で暮らす外国人についてどの程度親しみを感じますか。(1つを選択) 指標

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 親しみを感じる | 2. どちらかといえば感じる |
| 3. どちらかといえば感じない | 4. 親しみを感じない |

問3941 問3840のように考えるようになった理由を教えてください。(自由記述) 新規

<理由>

問4042 あなたは地域や職場において外国人からどのような影響を受けたと感じていますか 検討

(複数選択可)

1. 外国の文化に興味を持つようになった
2. 地域や職場のルールを見直すきっかけになった
3. 外国人と交流したり支援したりする機会が増えた

4. 騒音により困ったことがある

5. ゴミ出しルールが守られないことにより困ったことがある

6. その他（具体的に： _____）

7. 影響はない

問4143 多文化共生に関する次の意見についてあなたはどのように思いますか。（それぞれ1つを選択）

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①外国人は、日本語を身につけるほうが良い	1	2	3	4
②外国人は、日本の文化やルールを知るほうが良い	1	2	3	4
③外国人は、地域の活動に積極的に参加するほうが良い	1	2	3	4
④行政は、外国人が日本語や文化を学べるよう援助するほうが良い	1	2	3	4
⑤行政は、外国人がかれら自身の言語や文化を守れるよう援助するほうが良い	1	2	3	4
⑥日本人は、地域に住む外国人の言語を学ぶほうが良い	1	2	3	4
⑦日本人は、地域に住む外国人の文化やルールを知るほうが良い	1	2	3	4
⑧日本人は、地域の活動に外国人を積極的に受け入れるほうが良い	1	2	3	4

問4244 地域で暮らす外国人と接するときに、困ったことはありますか。（1つを選択）

1. ある

2. ない

→ 問4244で「1. ある」と答えた方に伺います。>

問4345 どのような場面でどのようなことに困りましたか。ご自由にお書きください

新規

問4446 地域を外国人とともに暮らしやすい社会にするため、あなた自身は何をすべきと思いますか。（複数選択可）

1. 外国人に対する差別意識をもたないようにする

2. 日本で生活するルールを外国人が守るように呼びかける

3. 地域住民との交流の場や地域の活動に外国人の参加を呼びかける

- 4. 外国の言葉や文化を学ぶ
- 5. 外国の言葉や文化に理解を持つ
- 6. やさしい日本語を使って、外国人にわかるようにコミュニケーションをとる
- 7. その他（具体的に： _____）

問4547 日本人と外国人がともに暮らしやすい社会にしていくために、行政はどのような取り組みに力を入れるべきだと思いますか。（複数選択可）

- 1. 行政サービス情報を多言語や、やさしい日本語で表記する
- 2. 緊急時に防災情報を多言語や、やさしい日本語で放送する
- 3. 労働相談や生活相談をしやすいように多言語の通訳や、やさしい日本語で対応する
- 4. 医療通訳を充実させる
- 5. 日本語を学ぶ機会を充実させる
- 6. 日本人と外国人の交流の場を設ける
- 7. 企業に対して労働に関する法令の遵守などを指導する
- 8. 日本人が外国の言葉や文化などを学ぶ機会を設ける
- 9. 外国人のこども・若者へのキャリア教育を充実させる

多文化共生についてご意見等ありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

ご記入いただきました市民意識調査票は同封の返信用封筒（切手は不要）に入れ、
●月●日（●）までにご投函くださいますようお願い申し上げます。